

旧気球連隊第二格納庫ダイヤモンドトラス部材を戦跡として展示します

千葉市では、旧気球連隊第二格納庫のダイヤモンドトラス部材を戦跡モニュメントとして千葉公園内に設置し、展示を開始しますので、お知らせします。

1 設置場所（別紙参照）

千葉公園 お花見広場（中央区弁天3-1-1）

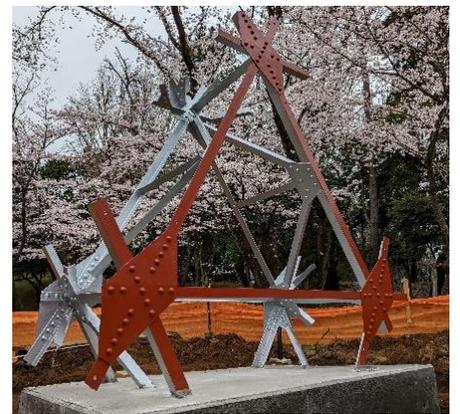
2 展示開始日

4月1日（金）

3 展示の経緯

本市では、平和啓発事業において第二格納庫を貴重な戦跡の一つとして紹介してきました。

解体に際しての地元町内会等のご要望などを踏まえてダイヤモンドトラス部材の寄贈を受け、往時の姿も想起する方法（設置角度、色合いなど）で、戦跡が点在する千葉公園内にモニュメントとして展示することとしました。



モニュメント

4 旧気球連隊第二格納庫について

旧気球連隊は、昭和2年（1927年）に現在の埼玉県所沢市から稲毛区作草部に移転した日本陸軍で唯一の軍用気球を扱う連隊でした。

連隊には気球を入れる大型格納庫が2つあり、第二格納庫は、昭和9年（1934年）に完成した「ダイヤモンドトラス」と呼ばれる立体構造材を使用した、かまぼこ屋根の巨大な建物でした。

第二格納庫は、戦後も長く民間事業者の倉庫として使われましたが、令和2年（2020年）に老朽化のため解体されました。



解体中の第二格納庫